

## 第1回 明老大学（開講式）のご案内 ☆ 記念講演 永昌寺住職 海野義範氏

- 期 日：5月30日（火） ● 会 場：矢沢振興センター・大広間 ● 開講式：午前9時30分～
- 講 演：午前10時～（1時間30分） ● 講 師：海野 義範 氏（北上市更木町 永昌寺 住職）
- 演 題：「僕らはみんなで生きている」 ● その他：明老大学生以外の聴講大歓迎！

### 海野義範住職のプロフィール

○生年月日：昭和44年12月25日 ○出身地：盛岡市

○経歴：

- ・昭和63年 岩手県立盛岡第一高等学校理数科卒業
- ・平成4年 日本体育大学体育学部体育学科卒業
- ・平成4年～19年 スポーツブランド会社、旅行会社に勤務しプロスキーヤーとして活動
- ・平成20年 大本山總持寺へ安居
- ・平成24年 北上市 永昌寺副住職に任命
- ・平成28～29年 大本山永平寺 本山布教師に任命
- ・平成30～31年 大本山永平寺 非常勤布教師に任命
- ・平成31年 北上市 永昌寺住職
- ・平成31年 曹洞宗特派布教師に任命
- ・令和元年 岩手県正法寺専門僧堂 非常勤布教師に任命
- ・NHKカルチャー講座北上 「禅をきく会」講師
- ・きたかみE&Be FM 「ラジオ デ スートラ」パーソナリティ



永昌寺境内



海野  
義範  
住職

### (2) 支出

単位：円

科 目	本年度決算額	摘 要
<b>事務的経費</b>	<b>3,175,213</b>	
・役員報酬	840,000	会長・副会長
・役員手当	73,000	会議出席日当
・賃金	960,000	事務局長
・会議費	47,330	総会、役員会
・需用費	1,254,883	電気料・事務用品・通信料・リース料等
・備品購入費	0	
<b>事業費</b>	<b>8,606,108</b>	
・特定事業部会事業	3,133,318	生涯学習事業等7事業
・重点事業	823,000	ふるさと観光事業等3事業
・一般事業	3,653,790	防犯対策事業等4事業
・その他ビジョンに示す事業	996,000	公民館の設備整備、備品購入等
雑費	75,700	(自主財源)
予備費	0	
繰出	0	
計	11,857,021	

○ 次年度への繰越 562,440円

### 矢沢地域振興会 令和4年度収支決算書

#### 1 一般会計収支決算書

##### (1) 収入

単位：円

科 目	本年度決算額	摘 要
市交付金	11,600,000	地域づくり交付金
会費	220,300	2,203戸×100
繰越金	384,462	前年度残額
負担金	120,000	他5団体事務負担金
雑収入	94,699	印刷代、貯金利息
繰入	0	
計	12,419,461	



(3) 積立金収支 (自主財源) 単位: 円

科目	本年度決算額	摘要
期首積立金	1,265,000	国道改対協 215,381 その他 1,049,619
当期	繰出	0
増減	繰入	200,000
期末積立金	1,465,000	1,465,000

● 矢沢振興センター&矢沢地区社会体育館受託管理の特別会計収支決算書は次号に掲載します。

○ 新型コロナウイルス感染症への対応に伴う施設利用ガイドラインは廃止!

今般、国では新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの2類相当から季節性インフルエンザと同じ5類へ引き下げることと決定し、5月8日(月)から移行されています。

これを受けて、花巻市では5月8日をもって「新型コロナウイルス感染拡大による市関連施設の利用制限ガイドライン」を廃止し、感染症対策本部を解散することを決定いたしました。

しかしながら、現在も感染状況は完全に収束していないことから、引き続き当振興センター及び社会体育館を利用の際は、手指消毒等の感染対策をお願いいたします。

● 矢沢地区・市政懇談会 ~ 開催のお知らせ ~

日時: 5月30日(火) 18時00分~(1時間30分)  
会場: 矢沢振興センター 大広間

懇談テーマ

- ・「地域における福祉支援の在り方」
- ・「公共交通問題」
- ・その他一般

※ 皆さんの出席をお願いします。



市政懇談会の一コマ

● 令和5年春の全国交通安全運動実施中! 「運転は ゆとりとマナーの 二刀流」

春の交通安全運動は、5月11日(木)~20日(土)の10日間で行われています。矢沢分会でも、のぼり旗の設置により交通安全啓発活動を行っています。お互いに交通安全を心がけましょう!

♥ トピックス

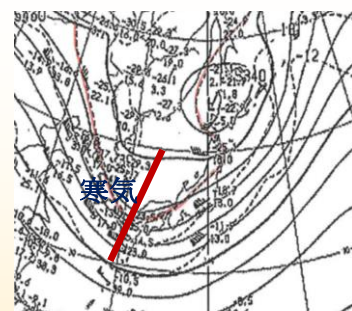
島区民会 4年振りの運動会に地区民集う!

晴天に恵まれた4月29日、恒例の運動会は4年ぶりに開催。地区民は農繁期前の1日を競技に応援にと久しぶりに大きな声、笑顔にあふれました。



【事務局員のつぶやき】(5月は雹(ひょう)にもご注意を!)

今年4月16日の午後2時過ぎに東京管区气象台では2年ぶりに直径8ミリの雹を観測したとのニュースが流れました。この日は東日本から西日本にかけて夏日になるなど気温が上昇、また日本の上空約5,500メートルには氷点下27度以下のこの時期として著しく強い寒気が流れ込み、大気の状態が非情に悪くなっていました。ちなみにこの日の館野(茨城県つくば市の高層气象台)21時の観測では850hPa 7.6度、500hPa -18.6度と上下層の気温差が26.2度と大きく不安定化し、積乱雲が発達し発雷していました。雹(ひょう)とは空から降ってくる氷の粒で、直径5ミリ以上のものを雹、5ミリ未満のものを霰(あられ)と言い、球形或いは不規則な形で、透明なものや乳白色と透明の層が交互に混じっているものがあります。雹のメカニズムとしては、積乱雲の上部で小さな氷の結晶が雪に成長し、これに0度以下になっても水の粒のままの過冷却した小さな水滴がついて氷霰になります。その霰が過冷却水滴の集まっているところに落下する。このとき、強い上昇流のために落下できないでいると、次々と過冷却水滴が衝突して霰が大きくなります。これを繰り返すうちに氷霰は大きな塊になり地上に落ちます。真夏は途中で解けてしまって大粒の雨となることが多いので、5~6月が雹の季節となります。雹により甚大な被害となることもあり、2000年(平成12年)5月24日茨城県南部と千葉県北西部でミカン大の降雹で、窓ガラスの破損や負傷者100人以上の被害となりました。この日の館野の500hPaと850hPaの温度差は30.6度と大きく大気の状態が非常に不安定となっておりました。岩手県でもこれからも雹の心配があります。くれぐれもご注意を!



令和5年4月16日21時 500hPa天気図



東京で観測した雹